



2026 年 8 月 31 日

各 位

上 場 会 社 名 株 式 会 社 L i b W o r k
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 瀬 口 力
(コード番号：1431 東証グロース・福証 Q-Board)
問 合 せ 先 責 任 者 取 締 役 経 営 企 画 室 長 難 家 嘉 之
(TEL. 0968-44-3227)

当社 3Dプリンター住宅の取り組みが 世界的ニュースメディア『Newsweek International』に掲載

当社が建築した土を主原料とする 3Dプリンター住宅のモデルハウス「Lib Earth House “model B”」の取り組みが、このたび世界的ニュースメディア『Newsweek International』に掲載されましたので、お知らせいたします。

記事では、「Lib Work、3Dプリンティングで日本の住宅の未来を再構築」をタイトルに、人口減少や建設技能者不足、輸入資材価格の高騰など、日本の住宅業界が直面する課題に対し、当社が 3Dプリンティング技術とデジタルトランスフォーメーション（DX）を活用し、新たな住宅づくりを推進している取り組みが紹介されています。

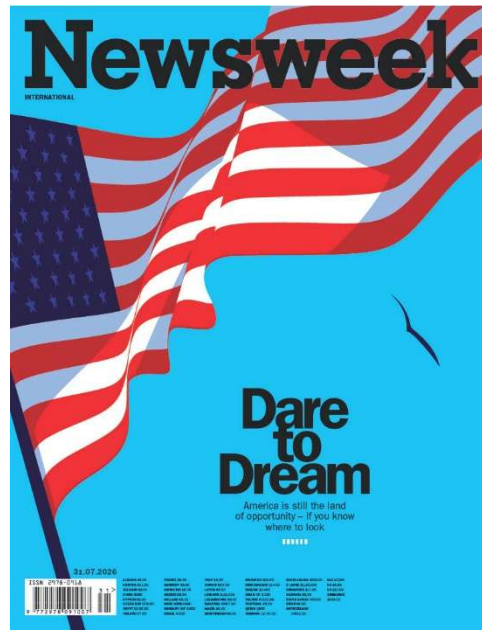
また、土を主原料とした環境配慮型 3Dプリンター住宅の開発、住宅建設における生産性向上や CO₂排出量削減への取り組み、さらには AI やデジタル技術を活用した住宅産業の変革について紹介されています。

今回の掲載は、当社が推進する「3Dプリンター住宅」の取り組みが国際的にも注目されていることを示すものであり、今後も AI ・デジタル技術・3Dプリンティング技術を活用し、持続可能な次世代住宅産業の実現に取り組んでまいります。

記

1. 掲載概要

媒体名	Newsweek International
発行元	Newsweek Publishing LLC
発行日	2026 年 7 月 24 日
記事タイトル	Lib Work、3Dプリンティングで日本の住宅の未来を再構築
掲載誌面 PDF	https://d.newsweek.com/en/file/479446/japanese-innovation-reshapes-construction-across-asia.pdf



(Newsweek International 表紙)

2. 「Lib Earth House “model B”」の特徴

「Lib Earth House “model B”」は国内初、土を主原料とした約 100 ㎡の 3D プリンター住宅です。壁はセメントを一切使わず、土を主原料に天然由来の素材だけで構成されたサステナブルな土壁です。セメントを一部使用していた旧モデル (model A) に比べて約 5 倍の強度を実現。さらに、100 ㎡の住宅における当社の試算では、RC (鉄筋コンクリート) 住宅に比べて CO₂ 排出量を約 50% 削減しています。これは一般的な木造住宅の排出量をも下回る数値であり、製造プロセスそのものの CO₂ 負荷を大幅に低減し、カーボンニュートラル社会の実現に大きく貢献します。また、2025 年 12 月 3 日には、土を主原料とした新しい建築材料の配合技術に関して特許を取得。当社は今後、設計から施工まで AI 技術を活用した完全自動住宅建設の実現を目指します。

特徴	得られるメリット
セメントを一切使用していない土を主原料とした環境配慮型材料	廃材削減や CO ₂ 排出抑制に寄与
設計の自由度	有機的な曲線や従来工法では困難なデザインを実現
壁内結露監視システム	壁内部の温湿度をリアルタイムでモニタリング
スマート IoT 設備を装備	エアコン・照明・浴室などをスマホや専用モニターから遠隔操作可能。利便性と快適性を大幅に向上
テスラ社の蓄電池「Powerwall」と太陽光発電パネルを組み合わせたオフグリッドシステム	電力会社に依存しない自給自足を実現

3. 業績に与える影響

2027 年 6 月期の業績予想に与える影響は軽微と考えます。今後開示すべき事項が生じた場合は、速やかにお知らせいたします。

当社は、本事業を通じて、SDG s 番号 3 「すべての人に健康と福祉を」、SDG s 番号 11 「住み続けられるまちづくりを」、SDG s 番号 12 「つくる責任つかう責任」、SDG s 番号 13 「気候変動に具体的な対策を」、SDG s 番号 15 「陸の豊かさを守ろう」及びSDG s 番号 17 「パートナーシップで目標を達成しよう」の実現に努めてまいります。



以上